

整形外科科学

主任教授 山田宏

准教授 岩崎博 筒井俊二 高見正成

講師 長田圭司 石元優々 西山大介 福井大輔 下江隆司 寺口真年 山中学

研究概要

当講座では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靱帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
 - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
 - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
 - 脊柱靱帯骨化症関連遺伝子の解析
 - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
 - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
 - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
 - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
 - パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
 - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
 - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靱帯・関節組織の再生に関する研究
 - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた靱帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
 - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
 - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
 - キンバック病に関する臨床的研究
 - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
 - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著 書

a) 学術

1. 山田宏：レジデントのための整形外科診療 脊椎. 日本医事新報社, 東京
2. 岩崎博, 山田宏: 腰・殿部のスポーツ診療に役立つ超音波解剖・インターベンション MBOrthop. 特集 医師とセラピストをつなぐスポーツエコー活用, 37(5):84-91, 2024
3. 岩崎博: 1 頸部神経根症 (ヘルニアを含む). レジデントのための整形外科診療 脊椎. 山田宏編, 日本医事新報社, 東京, pp. 1-16, 2024
4. 岩崎博: Psrt3 ケース紹介 F 症例 6 腰部. 運動器の身体診察 x エコー 超入門. 面谷透編, 診断と治療社, 東京, pp. 256-263, 2024
5. 高見正成: 脊椎腫瘍. レジデントのための整形外科診療 脊椎. 編集 山田宏, 日本医事新報社, 東京, pp. 113-130, 2024
6. 高見正成: 脊髄腫瘍. レジデントのための整形外科診療 脊椎. 編集 山田宏, 日本医事新報社, 東京, pp. 131-147, 2024
7. 深澤真弓: 神経診察. 「身体診察 (フィジカル) × 運動器エコー」 面谷透編, 診断と治療社, 東京, pp. 19-28, 2024
8. 深澤真弓: 肘関節外側: 外側上顆炎. 「はじめはみんな初心者だった ゼロから始める運動器エコーマスターへの 100 ステップ」 面谷透編, メジカルビュー社, 東京, pp. 120-121, 2024
9. 深澤真弓: 肘関節外側: 腕橈関節. 「はじめはみんな初心者だった ゼロから始める運動器エコーマスターへの 100 ステップ」 面谷透編, メジカルビュー社, 東京, pp. 122-123, 2024
10. 深澤真弓: 手関節掌側. 「はじめはみんな初心者だった ゼロから始める運動器エコーマスターへの 100 ステップ」 面谷透編, メジカルビュー社, 東京, pp. 124-125, 2024
11. 深澤真弓: 手関節橈側. 「はじめはみんな初心者だった ゼロから始める運動器エコーマスターへの 100 ステップ」 面谷透編, メジカルビュー社, 東京, pp. 126-127, 2024
12. 深澤真弓, 山中学, 山田宏: 画像所見. 「運動器疼痛 ペインクリニックの診断と治療」 井関雅子編, 克誠堂出版, 東京, pp. 143-147, 2024
13. 神前拓平: 靱帯骨化症. 「レジデントのための整形外科診療 脊椎」 山田宏編, 日本医事新報, 東京, pp. 68-75, 2024

【以下、順不同】

14. 寺村健三, 坂本あきな, 中家奈々, 西山涼子, 下江隆司, 幸田剣: 患者の“活動”を向上し, 主体的な“参加”を支援する自助具を活用して行う超急性期からの作業療法. OT ジャーナル, 58(8):728-34, 2024

b).その他

1. 岩崎博: COLUMN3 「今でも初心者です!」. はじめはみんな初心者だった ゼロから始める運動器エコーマスターへの 100 ステップ 面谷透編, メジカルビュー社, 東京, pp. 96-97, 2024

総 説

1. 南出晃人: 脊椎変性疾患に対する MED 特性を活かした脊椎内視鏡手術. 運動器リハビリテーション(J. Musculoskeletal Medicine) 34(4):359-369, 2023
2. 南出晃人: 脊椎・上肢編 画像で学ぶ整形外科手術 脊椎手術 経皮的椎体形成術. 整形外科看護 29(11):30-36, 2024
3. 中川幸洋: 腰椎変性疾患に対する MED システムを用いた除圧手術 - 腰椎 MED, 椎間孔外ヘルニアの外側アプローチを含めて-. OS NowNEXUS No11 : 35-47, 2024
4. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 山田宏: ディープフェイク技術を応用した手術説明支援システム. 整形外科 (0030-5901) 75(11):1101-1104, 2024
5. 寺口真年: ロコモティブシンドローム・骨粗鬆症に関連するフレイルと認知機能障害. 老年精神医学雑誌 35 巻 (6):547-551, 2024

6. 寺口真年:骨粗鬆症性椎体骨折の AI 診断ツール開発と早期治療介入による超高齢社会の医療経済の効果検証. 日本骨粗鬆症学会雑誌 10 巻(3) 101-105, 2024

原 著

1. 谷口泰徳:小児の外傷性小指欠損に対して第 2 足趾移植を行った 1 例. 日本マイクロサージャリー学会学誌, 37(3):127-132, 2024
2. 谷口泰徳, 松山雄樹, 上野健, 木戸勇介, 山中学:まれな深掌筋腱 (palmaris profundus tendon) を伴った手根管症候群の 2 例. 整形外科, 75(12):1215-1220, 2024
3. 松本卓二, 橋本光司, 松本幾久子, 田中麻友, 新谷成令, 船岡信彦:骨密度と OSTA の骨折識別能の比較 骨粗鬆症性主要骨折における先進的な診断手法の精度解析. 日本骨粗鬆症学会雑誌 1 (Suppl. 1):583, 2024
4. 松本卓二, 橋本光司, 松本幾久子, 田中麻友, 新谷成令, 船岡信彦: 強度指数に基づく骨折リスクと椎体骨折の重症度評価. 日本骨粗鬆症学会雑誌 10 (Suppl. 1): 515, 2024
5. 松本卓二, 橋本光司, 松本幾久子, 田中麻友, 新谷成令, 船岡信彦:BRI を応用した新しい骨折リスク評価と重症度分類 大腿骨近位部骨折の臨床的検討. 日本骨粗鬆症学会雑誌 10 巻 Suppl. 1 (515), 2024
6. 松本卓二, 橋本光司, 貝持裕太, 新谷成令, 木村友香子, 松本幾久子, 船岡信彦: やさしい脊椎脊髄病治療の実践:栄養指標の重要性「脊椎椎体骨折」脊椎椎体骨折における骨折ドミノに関する栄養指標の検討. Journal of Spine Research 15(3):90, 2024
7. 松本卓二: 高齢者の骨折ドミノ 脊椎椎体骨折と大腿骨近位部骨折には体重と栄養が関連する. 骨折 46 (Suppl):S163, 2024
8. 松本卓二: 高齢女性における TBS の骨密度・体格指数・栄養指標への影響 骨質と栄養状態の重要な関連性骨折. 46 (Suppl):S138, 2024
9. 松本卓二:BRI を応用した新しい骨折リスク評価と重症度分類 大腿骨近位部骨折の臨床的検討. 骨折 46 (Suppl):S137, 2024
10. 松本卓二:脊椎椎体骨折における骨折ドミノ効果の解析 骨折年齢, 大腿骨骨密度, および体格指数との関連性の検討. 骨折 46 (Suppl):S123, 2024:23, 2024. 06
11. 松本卓二, 橋本光司, 貝持裕太, 松本幾久子, 田中麻友, 新谷成令:骨密度と骨質を組み合わせた骨レジリエンス指数の骨折識別能と重症度についての検討. 日本整形外科学会雑誌 98(3): S759, 2024
12. Matsumoto T, Nakatani S, Inoue K, Michiue Y, Matsumoto I, Funaoka N: Intertrochanteric femoral fracture with lateral wall fracture at the lag screw insertion site may cause postoperative anterior wall fracture and lead to deterioration in activities of daily living. J Orthop Sci 26:S0949-2658(24)00104-0, 2024.
13. Tsutsui S, Hashizume H, Iwasaki H, Takami M, Ishimoto Y, Nagata K, Yamada H: Long-term Outcomes After Adult Spinal Deformity Surgery Using Lateral Interbody Fusion: Short Versus Long Fusion. Clin Spine Surg, 37(8):E371-E376, 2024
14. Tsutsui S, Hashizume H, Iwasaki H, Takami M, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Yamada H: Willingness to undergo the same surgery again among older patients who have undergone corrective fusion surgery for adult spinal deformity. J Clin Neurosci, 27:110761, 2024
15. Takami M, Tsutsui S, Nagata K, Taiji R, Iwasaki H, Okada M, Minamide A, Yukawa Y, Hashizume H, Yamada H: Risk factors of postoperative coronal malalignment following long-segment spinal fusion surgery using multilevel lateral lumbar interbody fusion for degenerative lumbar kyphoscoliosis. J Neurosurg Spine, 13:40(1):70-76, 2024 Jan 1.
16. Takami M, Tsutsui S, Nagata K, Iwasaki H, Minamide A, Yukawa Y, Okada M, Taiji R, Murata S, Kozaki T, Hashizume H, Yamada H: Spinopelvic parameters in the elderly: does inadequate correction portend worse outcomes? Spine Surg Relat Res, 11:8(4):439-447, 2024 Mar

17. Takami M, Murakami K, Nonaka K, Hashimoto K, Miyake R, Yamada H: Transcostal microendoscopic discectomy for central thoracic disc herniation causing myelopathy: A technical note. *Spine Surg Relat Res*, 2024; 8(6): 644-650.
18. Iwata S, Hashizume H, Yoshimura N, Oka H, Iwahashi H, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Kagotani R, Sasaki T, Tanaka S, Yoshida M, Yamada H: Osteoporosis, spinal degenerative disorders, and their association with low back pain, activities of daily living, and physical performance in a general population. *Sci Rep* 14, 15860, 2024
19. 石元優々: レジデントのための整形外科診療 脊椎9 脊椎分離症 (スポーツによるL5 疲労骨折など)
20. 石元優々, 岩崎博, 山田宏: 脊椎エコー — 診断的治療としての治療 —. 別冊整形外科1 巻80 号 整形外科外来診療の工夫・診断、保存療法、外来手術 I. 総論 3. エコー下インターベンション P37-40
21. Nishiyama D, Arita S, Fukui D, Yamanaka M, Yamada H: Accurate fall risk classification in elderly using one gait cycle data and machine learning. *Clin Biomech (Bristol)*. 115:106262, 2024 May
22. 福井大輔, 岸拓暉, 西山大介, 山中学, 殿尾守弘, 山田宏: MAKO による dynamic joint balancing を用いた骨切り前の gap 仮想値とインプラント設置後の実測値の差の検討. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 67 (5): 697-698, 2024
23. Teraguchi M, Nakagawa Y, Enyo Y, Minetama M, Yamamoto Y, Nakagawa M, Nakatani T, Yamada H: Predictive Factors for Health-Related Quality of Life Post-Balloon Kyphoplasty in Patients with Osteoporotic Vertebral Compression Fractures. *J Pain Res*; 17:3619-25, 2024
24. Teraguchi M, Nakagawa Y, Nakatani T, Minetama M, Enyo Y, Maeda T, Taiji R, Sasaki T, Yamamoto Y, Nakagawa M, Yamada H: Effectiveness of ultra-early balloon kyphoplasty at one year after osteoporotic vertebral fracture. *J Orthop Sci*, 2024
25. 前田孝浩, 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する Vertebral Body Stenting (VBS) の適応と臨床成績. 「骨粗鬆症性椎体骨折診療の最前線」戸川 大輔, 全日本病院出版会, pp. 29-36, 2024
26. 深澤真弓: 手への超音波ガイド下インターベンションの基礎と応用. *臨床整形外科* 59 (1): 33-38, 2024
27. 深澤真弓, 加藤匡裕, 岩部昌平: 神経痛性筋萎縮症. *総合診療* 34 (2), 164-166, 2024
28. Taiji R, Kang JD, Mizuno S: Cellular behavior and extracellular matrix turnover in bovine annulus fibrosus cells under hydrostatic pressure and deviatoric strain. *J Orthop Res*. 42(6):1326-1334, 2024
29. Tomomatsu K, Taniguchi T, Hashizume H, Harada T, Iidaka T, Asai Y, Oka H, Muraki S, Akune T, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshida M, Tanaka S, Yoshimura N, Yamada H: Factors associated with cam deformity in Japanese local residents. *Scientific Reports*, 14, 1585, 2024
30. 木戸勇介, 下江隆司, 村田顕優, 松山雄樹, 山田宏: 手指爪下軟部腫瘍における超音波を利用した診断と顕微鏡下爪甲辺縁アプローチの有用性. *日本マイクロサージャリー学会会誌* 37 (4): 145-149, 2024
31. 神前拓平, 橋爪洋, 西山大介, 山田宏: 脊柱変形術後に発症する股関節症は骨盤固定の影響が考えられる. *脊髄外科* (0914-6024) 38 (1): 76-77, 2024
32. Toshiya S, Shizumasa M, Yoji K, Yoshimasa M, Hiroki I, Shingo I, Kota K, Hiroshi Y: Benefits of surgical treatment within 48 h of proximal femoral fracture in centenarians: a retrospective cohort study. *Frontiers in Surgery*, 27:11, 2024 Feb
33. 下程俊弥, 村田鎮優, 米良好正, 岩橋弘樹, 川村晃大, 北野陽二: 90 歳以上のおもも骨近位部骨折に対し, 病院をあげて早期手術を実施する取り組みは有効か? 阻害要因は何か? 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 67 巻 1 号 Page9-10, 2024. 1.
34. Akimasa Murata, Shunji Tsutsui, Ei Yamamoto, Takuhei Kozaki, Ryuichiro Nakanishi, Hiroshi Yamada: A Bicortical Pedicle Screw in the Cephalad Trajectory Is the Best Option for the Fixation of an Osteoporotic Vertebra: A Finite Element Study. *Spine Surg Relat Res*, 2024, 8(5), 510-517
35. 山本悠太, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 三宅稜, 山田宏: 人工股関節置換術を契機に診断されたアルカプトン尿症性関節症の 1 例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 67 (5): 769-770, 2024

【以下、順不同】

36. Nomura H, Iwasaki H, Nomura S, Tanaka Y: Simultaneous herpes zoster rash in the femoral and medial buttock region that illustrates the innervation zone of the dorsal ramus of the lumbar spinal nerve root: A case report. J Orthop Sci. 29(1): 399-401, 2024
37. Minetama M, Kawakami M, Teraguchi M, Nakagawa M, Yamamoto Y, Matsuo S, Sakon N, Nakatani T, Nakagawa Y: Responsiveness of the Zurich claudication questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis undergoing nonsurgical treatment: a secondary analysis of a randomized controlled trial. Spine 2024;49(18):1275-80.
38. Inose H, Takahashi S, Teraguchi M, Kato T, Yamada K, Yasuda H, Terakawa M, Minetama M, Tomori M, Nakagawa Y, Yoshii T: Romosozumab versus bisphosphonates for preventing subsequent vertebral fractures after balloon kyphoplasty: comparison using data from two prospective multicenter studies. JBMR Plus. 2024;9(1):ziae137.
39. 中谷友洋, 峯玉賢和, 寺口真年, 中川雅文, 山本義男, 松尾咲愛, 左近奈菜, 畑中凌太, 畑中若菜, 坂田倫哉, 北裏清剛, 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折患者における経皮的椎体形成術後のせん妄発生率と予後因子. Journal of Spine Research;15(6): 907-13, 2024
40. 深澤恵理子, 深澤真弓, 深澤弘行, 深澤佑介, 樗木隆聡: 肩透析アミロイドーシスの診断に超音波検査が有用であった症例. 整形災害外科 67(4), 431-436, 2024

その他の論文

1. 中川幸洋: ドクター中川の元気いっぱい 腰痛は原因をつきとめて適切な治療を行いましょう. きのかわトークニュース, 2024. 2. 16
2. 中川幸洋: ドクター中川の元気いっぱい ほかの病気からくる骨粗鬆症にも注意を! きのかわトークニュース, 2024. 5. 30
3. 中川幸洋: ドクター中川の元気いっぱい 腰椎椎間板ヘルニアについて. きのかわトークニュース, 2024. 8. 30
4. 中川幸洋: ドクター中川の元気いっぱい 更年期女性の手指の痛みについて. きのかわトークニュース, 2024. 11. 11
5. 岩崎博, 山田宏: 【医師とセラピストをつなぐスポーツエコー活用】腰・臀部のスポーツ診療に役立つ超音波解剖・インターベンション. Orthopaedics 37(5) : 84-91, 2024
6. 岩崎博, 山田宏: 【各神経ブロック, 関節ブロックの実際】仙骨硬膜外注射, 腰椎椎間関節注射-超音波ガイド下. 脊椎脊髄ジャーナル 37(7) : 491-495, 2024
7. Takami M, Tsutsui S, Nagata K, Iwasaki H, Minamide A, Yukawa Y, Okada M, Taiji R, Murata S, Kozaki T, Hashizume H, Yamada H :Spinopelvic Parameters in the Elderly: Does Inadequate Correction Portend Worse Outcomes? Spine Surg Relat Res. 11;8(4):439-447, 2024 Mar
8. Tomomatsu K, Taniguchi T, Hashizume H, Harada T, Iidaka T, Asai Y, Oka H, Muraki S, Akune T, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshida M, Tanaka S, Yoshimura N, Yamada H: Factors associated with cam deformity in Japanese local residents. Sci Rep, 18;14(1):1585, 2024 Jan
9. Murata S, Iwasaki H, Hashizume H, Yukawa Y, Minamide A, Nakagawa Y, Tsutsui S, Takami M, Okada M, Nagata K, Ishimoto Y, Teraguchi M, Iwahashi H, Murakami K, Taiji R, Kozaki T, Kitano Y, Yoshida M, Yamada H: Comparative Evaluation of Postoperative Epidural Hematoma after Lumbar Microendoscopic Laminotomy: The Utility of Ultrasonography versus Magnetic Resonance Imaging. Spine Surg Relat Res. 14;8(4):433-438, 2024 Feb
10. Kozaki T, Hashizume H, Tsutsui S, Takami M, Taniguchi T, Yamada H: Acetabular Rim Fracture after Adult Spinal Deformity Surgery-Induced Secondary Hip Osteoarthritis: Two Case Reports. Spine Surg Relat Res, 21;7(5):464-467. 2023 Apr
11. Kozaki T, Hashizume H, Oka H, Ohashi S, Kumano Y, Yamamoto E, Minamide A, Yukawa Y, Iwasaki H, Tsutsui S, Takami M, Nakata K, Taniguchi T, Fukui D, Nishiyama D, Yamanaka M, Tamai H, Taiji R, Murata S, Murata A, Yamada H: Erratum for Lumbar Fusion including Sacroiliac Joint Fixation Increases the Stress and Angular Motion at the Hip Joint: A Finite Element Study. Spine Surg Relat Res, 27;7(2):199, 2023 Mar

12. Hashizaki T, Nishimura Y, Ogawa T, Ohno C, Kouda K, Umemoto Y, Taniguchi T, Yamada H, Tajima F: Effectiveness of a 3-Week Rehabilitation Program Combining Muscle Strengthening and Endurance Exercises Prior to Total Knee Arthroplasty: A Non-Randomized Controlled Trial. *J Clin Med*, 15:12(4):1523, 2023 Feb
13. 友松晃一, 谷口隆哉, 橋爪洋, 村木重之, 阿久根徹, 川口浩, 中村耕三, 吉田宗人, 吉村典子, 山田宏: 地域住民における cam deformity の疫学的指標と関連因子. *日本整形外科学会雑誌*, 98 巻 8 号 Page S1763, 2024. 09
14. 友松晃一, 谷口隆哉, 原田悌志, 浅井宣樹, 橋爪洋, 山田宏: 地域住民における cam deformity の疫学的指標と関連因子. *中部日本整形外科災害外科学会雑誌*, 66 巻秋季学会, Page280, 2023. 10
15. Murata S, Nagata K, Yamada H: Long-term efficacy of microendoscopic laminotomy for lumbar spinal stenosis in advanced degenerative spondylolisthesis with or without dynamic spinal instability: a propensity score-matching analysis. *J Neurosurg Spine*. 26:41(1):9-16. 2024 Apr
16. Murata S, Iwasaki H, Yamada H: Comparative Evaluation of Postoperative Epidural Hematoma after Lumbar Microendoscopic Laminotomy: The Utility of Ultrasonography versus Magnetic Resonance Imaging. *Spine Surg Relat Res*. 14:8(4):433-438. 2024 Feb
17. Murata S, Takami M, Yamada H: Outcomes and Vertebral Osteophytes and Bulging Intervertebral Discs Occupancy as a Decision-Making Tool for Surgical Success in Patients Undergoing Microendoscopic Foraminotomy for Lumbar Foraminal Stenosis. *World Neurosurg*. 182:e570-e578. 2024 Feb
18. 村田顕優, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 神埜聖治, 南方邦彦, 山田宏, 中根康博, 谷口隆哉: 急速破壊型肩関節症に対しリバー型人工肩関節全置換術を施行した 1 例. *和歌山医学*, 74 巻 4 号 Page174-175, 2023. 12
19. 山本章, 木下裕文, 窪田誠治, 谷口隆哉, 友松晃一, 平井一成: ビスホスホネート製剤長期内服患者に生じた尺骨非定型骨折の 3 例. *和歌山医学*, 74 巻 4 号 Page173-174, 2023. 12
20. 平井一成, 窪田誠治, 谷口隆哉, 友松晃一, 山本章, 木下裕文: 当院で経験した大腿骨非定型骨折の 2 例
21. 三宅稜, 西山大介, 谷口隆哉, 福井大輔, 山中学, 山田宏: 転位のある陳旧性寛骨臼横骨折に対して整復や骨接合術を併用せずに最小侵襲で一期的な THA を施行した 1 例. *和歌山医学*, 74 巻 1 号 Page49, 2023. 03

【以下、順不同】

22. 小池有美, 芝寿実子, 山田宏: 2 歳で超高位頸髄損傷を受傷し成人した女性のウェルビーイング ～継続的なリハビリテーション治療・支援の先にあるもの～. *リハビリテーション・エンジニアリング*. 39 巻 1 号 p. 19-23, 2024
23. Takemasa R, Konishi H, Minamide A, Kawasaki M, Kawaguchi Y, Watanabe K, Shirasawa K, Ishii K, Yukawa Y, Toyone T, Yoshida M. : Effectiveness and Safety of Vertebral Body Stenting for Acute Spinal Compression Fractures due to Primary Osteoporosis: A Multicenter Prospective Clinical Study. *Spine Surg Relat Res*. 14:8(4):415-426, 2024 Feb
24. 中谷友洋, 峯玉賢和, 寺口真年, 中川雅文, 山本義男, 松尾咲愛, 左近奈菜, 畑中凌太, 畑中若菜, 坂田倫哉, 北裏清剛, 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折患者における経皮的椎体形成術後のせん妄発生率と予後因子. *J Spine Res*. 150: 907-913, 2024
25. Diaz-Hernandez ME, Murakami K, Murata S, Khan NM, Shenoy SPV, Henke K, Yamada H, Drissi H. Inhibition of KDM2/7 Promotes Notochordal Differentiation of hiPSCs. *Cells*. 4:13(17):1482. 2024 Sep

学会報告

a) 国際学会

1. Yamada H: Microendoscopic decompression for lumbosacral foraminal stenosis: A novel surgical strategy based on anatomical considerations using 3D image fusion with MRI/CT. *Spine Across the Sea* 2024.7. Hawaii, USA

2. Tsutsui S, Hashizume H, Iwasaki H, Takami M, Ishimoto Y, Nagata K, Teraguchi M, Yamada H: Are older patients who underwent corrective fusion surgery for adult spinal deformity willing to undergo same surgery again in the future? Eurospine annual meeting 2024, 2024.10. Vienna, Austria
3. Shimoe T, Kito Y, Matsuyama Y, Murata A, Hashizume H, Yamada H: Effects of Equol for pain Caused by Hand Osteoarthritis in Perimenopausal Women. 24th Federation of European Societies for Surgery of the Hand, 2024.6. Rotterdam
4. Yukawa Y: Surgical strategy for Cervical OPLL Without trauma / with trauma CSRS-AP Instructional course, Surabaya, Indonesia, 20 Jan, 2024
5. Yukawa Y: What's normal in children, What is not (symposium) .39th CSRS-Euro, 6-8 Jun 2024, Vienna, Austria
6. Yukawa Y: Does anterior surgery provide good surgical outcome for K-line (-) and/or huge OPLL (occupying ratio > 50%) in cervical spine?.68th Annual Congress of Korean Orthopaedic Association, Oct 17-19, 2024, Seoul
7. Yukawa Y: Significance of MRI signal change in cervical myelopathy.2024 Himalayan Spine Symposium, 15-16 Nov, 2024, Koshi Province, Nepal
8. Yukawa Y, Mihara Y, Kato F:Cervical myelopathy with kyphotic deformity, Post-laminoplasty kyphosis.14th CSRS-AP, 22-23 Mar 2024, Singapore
9. Yukawa Y:How to manage post-laminoplasty kyphosis (symposium).14th CSRS-AP, 22-23 Mar 2024, Singapore
10. Yukawa Y, Watanabe Y, Kato F:Surgical outcomes and complications of reconstructive surgery for cervical myelopathy with kyphotic deformity.39th CSRS-Euro, 6-8 Jun 2024, Vienna, Austria
11. Yukawa Y, Kozaki T, Kato F, Yamada H:Impact of increased signal intensity of spinal cord at vertebral body level in patients with cervical myelopathy.39th CSRS-Euro, 6-8 Jun 2024, Vienna, Austria
12. Yukawa Y, Mihara Y, Watanabe Y, Kato F:Does anterior surgery provide good surgical outcome for K-line (-) and/or huge ossification of posterior ligament (occupying ratio > 50%) in cervical spine?.7th annual meeting of APSS, 14-15 June, 2024, Hong Kong
13. Yukawa Y, Kozaki T, Kato F, Yamada H:Impact of increased signal intensity of spinal cord at vertebral body level in patients with cervical myelopathy.7th annual meeting of APSS, 14-15 June, 2024, Hong Kong
14. Yukawa Y, Mihara Y, Kato F:Impact of anterior surgery for K-line (-) and/or huge ossification of posterior ligament (occupying ratio > 50%) in cervical spine.43rd SICOT Orthopaedic World Congress, 25-27 Sep 2024, Belgrade, Serbia
15. Yukawa Y, Kozaki T, Kato F, Yamada H:Impact of increased signal intensity of spinal cord at vertebral body level in patients with cervical myelopathy.43rd SICOT Orthopaedic World Congress, 25-27 Sep 2024, Belgrade, Serbia
16. Minamide A, Murata S, Yukawa Y, Taiji R, Kozaki T, Takami M, Tsutsui S, Simpson AK, Schoenfeld AJ, Nohara Y, Taneichi H, Yamada H: Comparison of clinical results between minimally invasive cervical foraminotomy and anterior cervical decompression and fusion for cervical radiculopathy. 2024 Spine Across the Sea Meeting Jointly Supported by the North American Spine Society and the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research. July 29-August 2, 2024, Kauai, Hawaii, USA.
17. Minamide A, Ohe M, Yukawa Y, Nohara Y, Taneichi H, Yamada H:Schoenfeld AJ, Simpson AK. Early versus delayed kyphoplasty for thoracolumbar osteoporotic vertebral fractures: the effect of timing on clinical and radiographic outcomes and subsequent compression fractures. 2024 Spine Across the Sea Meeting Jointly Supported by the North American Spine Society and the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research. July 29-August 2, 2024, Kauai, Hawaii, USA.
18. Yukihiro Nakagawa, Takahiro Maeda, Ryo Taiji, Takahide Sasaki, Masatoshi Teraguchi, Yoshio Enyo:Bony fusion of thoracic spine without bone grafting after circumferential minimally invasive spine surgery using lateral lumbar interbody fusion and percutaneous pedicle screws.International symposium of advanced spine surgery (ISASS 24), 2024.4.26-29, Miami, FL, USA
19. Yukihiro Nakagawa, Takahiro Maeda, Ryo Taiji, Takahide Sasaki, Masatoshi Teraguchi, Yoshio Enyo:Comparison between titanium lamina plates and Hydroxyapatite spacer for midline spinous process-splitting cervical laminoplasty. International symposium of advanced spine surgery (ISASS 24), 2024.4.26-29, Miami, FL, USA

20. Yukihiro Nakagawa, Takahiro Maeda, Ryo Taiji, Takahide Sasaki, Masatoshi Teraguchi, Yoshio Enyo: Comparison between titanium lamina plates and Hydroxyapatite spacer for midline spinous process-splitting cervical laminoplasty. Society for minimally invasive spine surgery Asia Pacific (SMISSAP), 2024.6.13-14, Hong Kong, China.
21. Yukihiro Nakagawa, Takahiro Maeda, Ryo Taiji, Takahide Sasaki, Kazuyoshi Minamino: Bony fusion of thoracic spine without bone grafting after circumferential minimally invasive spine surgery using lateral lumbar interbody fusion and percutaneous pedicle screws. Society for minimally invasive spine surgery Asia Pacific (SMISSAP), 2024.6.13-14, Hong Kong, China.
22. Ishimoto Y, Arita S, Hashizume H, Nagata K, Muraki S, Oka H, Takami M, Tsutsui S, Iwasaki H, Iidaka T, Kawaguchi H, Tanaka S, Nakamura K, Yoshida M, Yoshimura N, Yamada H: Progression for radiographic lumbar spondylolisthesis in the general population: a 10-year follow-up of the ROAD study. 2024 ISSLS Annual Meeting in Milano, Italy
23. Teraguchi M, Hashizume H, Oka H, Kagotani R, Nagata K, Ishimoto Y, Tanaka S, Yoshida M, Yoshimura N, Yamada H: Prevalence and distribution of Schmorl node and endplate signal change, and correlation with disc degeneration in a population-based cohort: The Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 51th annual meeting 2024.5. Milan, Italia
24. Teraguchi M, Hashizume H, Samartzis D, Oka H, Nagata K, Ishimoto Y, Yoshida M, Yoshimura N, Yamada H: Sex-Specific Associations Between Schmorl Nodes, Modic Changes, and Osteoporosis in a Large Population-Based Study: the Wakayama Spine Study. International society for study of lumbar spine, 51th annual meeting 2024.5. Milan, Italia
25. Teraguchi M, Nakamura K, Nakata T, Kozaki T, Takami M, Nagata K, Ishimoto Y, Ueda K, Inoue S, Yamada H: Association between thoracic diffuse idiopathic skeletal hyperostosis, and cervical spinal cord injury without radiographic evidence of trauma and cervical canal stenosis. 7th Asia Pacific Spine Society, 2024. 6. Hong Kong
26. Teraguchi M, Nakata T, Kozaki T, Takami M, Nagata K, Ishimoto Y, Ueda K, Inoue S, Yamada H: Non cervical diffuse idiopathic skeletal hyperostosis is a risk factor for severity of cervical spinal cord injury. 7th Asia Pacific Spine Society, 2024. 6. Hong Kong
27. Takuhei Kozaki, Takahiro Kozaki, Hiroshi Hashizume, Dino Samartzis, Howard An, Mamoru Kawakami, Hiroshi Yamada: Hip osteoarthritis after spinal fusion surgery: 5 years follow-up study. ISSLS, 2024. Milan, Italy

【以下、順不同】

28. Nakatani T, Minetama M, Teraguchi M, Nakagawa M, Yamamoto Y, Matsuo S, Sakon N, Hatanaka R, Hatanaka W, Sakata T, Kitaura S, Nakagawa Y: The incidence and prognostic factors of delirium in elderly patients with osteoporotic vertebral fractures undergoing kyphoplasty. The 50th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, 2024 5.27-31, Milan, Italy.
29. Minetama M, Kawakami M, Teraguchi M, Nakagawa M, Yamamoto Y, Nakatani T, Matsuo S, Sakon N, Nakagawa Y: Responsiveness of Zurich claudication questionnaire in patients with lumbar spinal stenosis undergoing nonsurgical treatment: A secondary analysis of a randomized controlled trial. The 50th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, 2024 5.27-31, Milan, Italy.
30. Minetama M, Kawakami M, Teraguchi M, Nakagawa M, Yamamoto Y, Nakatani T, Matsuo S, Sakon N, Nakagawa Y: Minimal clinically important differences in walking capacity and physical activity for patients with lumbar spinal stenosis undergoing nonsurgical treatment: a secondary analysis of a randomized controlled trial. The 50th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting, 2024 5.27-31, Milan, Italy.
31. Tomohiro Nakatani, Masakazu Minetama, Masatoshi Teraguchi, Masafumi Nakagawa, Yoshio Yamamoto, Sachika Matsuo, Nana Sakon, Ryota Hatanaka, Wakana Hatanaka, Tomoya Sakata, Seigo Kitaura, Yukihiro Nakagawa: The incidence and prognostic factors of delirium in elderly patients with osteoporotic vertebral fractures undergoing kyphoplasty. The 50th International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting 2024, Milan, Italy.

b) シンポジウム、学術講演、パネルディスカッション等

1. 山田宏:成人脊柱変形手術後に生じる隣接関節障害 (Adjacent Joint Disease: AJD) ー新たな疾患概念の提唱ー. 昭和大学講演会, 2024年3月9日. 東京
2. 山田宏:The Wakayama Spine Study から学ぶEBM ー最新の骨粗鬆症治療も含めてー. 琉球脊椎カンファレンス, 2024年3月27日. 那波市
3. 山田宏:成人脊柱変形手術後に生じる隣接関節障害 (Adjacent Joint Disease: AJD) ー新たな疾患概念の提唱ー. WCOA 講演会, 2024年3月30日. 和歌山市
4. 山田宏:脊椎診療のニューノーマルーThe Wakayama Spine Study から学ぶEBM・骨粗鬆症も含めてー. 宮城骨粗鬆症治療講演会, 2024年4月6日. 仙台市
5. 山田宏:更年期世代の女性に多い手の障害(Menopausal Hand)へ神経障害性疼痛管理を含めてー. 山形談話会, 2024年4月26日. 山形市
6. 山田宏:成人脊柱変形手術後に生じる隣接関節障害 (Adjacent Joint Disease: AJD) ー新たな疾患概念の提唱ー. 日本医科大学講演会, 2024年7月13日. 東京
7. 山田宏:腰椎椎間孔狭窄症診療のニューノーマルー最新の骨粗鬆症治療も含めてー. 第9回横浜運動器未来創生セミナー横浜, 2024年8月3日. 横浜市
8. 山田宏:骨粗鬆症リスクを有する脊椎疾患への挑戦ー和医大メソッドの紹介ー. 全国済生会整形外科研究会, 2024年9月14日. 和歌山市
9. 山田宏:成人脊柱変形手術後に生じる隣接関節障害 (Adjacent Joint Disease: AJD) ー新たな疾患概念の提唱ー. 奈良脊椎を語る会, 2024年12月7日. 橿原市
10. 湯川泰紹: 頸椎後縦帯骨化症に対する治療戦略. 第121回東北整形災害外科学会, 2024. 5. 10. 仙台
11. 湯川泰紹, 三原唯暉, 加藤文彦:K-line(-)もしくは脊柱管内占拠率50%を超える頸椎後縦帯骨化症に対する後方除圧固定術の手術成績と合併症. 第53回日本脊椎脊髄病学会, 2024. 4. 18-20. 横浜
12. 湯川泰紹, 三原唯暉, 渡邊悠, 加藤文彦:後弯を合併した頸椎症性脊髄症の手術成績と合併症. 第59回脊髄障害医学会, 2024. 11. 7-8. 沖縄
13. Yukihiro Nakagawa:MIS lumbar surgery; case and pitfall.2024 Meet the Masters Advanced spine care management symposium in OSAKA, Feb3, 2024, Granpark Yoshino, Nara
14. 松本卓二:やさしい脊椎脊髄病治療の実践:栄養指標の重要性「脊椎椎体骨折」脊椎椎体骨折における骨折ドミノに関する栄養指標の検討. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 横浜
15. 南出晃人:骨粗鬆症性椎体骨折 (OVF) 治療の神髄を探究する:骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術の安全適正使用と応用. 第14回最小侵襲脊椎治療学会 (MIST 学会), 2024. 6. 28-29. 倉敷
16. 南出晃人, 大江真人, 種市洋:内視鏡を用いた脊椎固定術 ESSt 研究会発足のご報:MED 内視鏡特性からの内視鏡下腰椎側方椎体間固定術 (MELIF). 第14回最小侵襲脊椎治療学会 (MIST 学会), 2024. 6. 28-29. 倉敷
17. 南出晃人, 大江真人, 種市洋, 山田宏, 吉田宗人. 頸椎疾患に対する内視鏡下手術:頸部神経根症に対する手術法の優位性; 頸椎内視鏡下椎間孔拡大術と頸椎前方除圧固定術との比較. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 21-22. 大阪市
18. 中川幸洋, 前田孝浩, 太地良, 佐々木貴英, 南野和佳, 寺口真年, 延良良夫:ALL PPS による成人脊柱変形の矯正固定術への移行-open から hybrid, cMIS への変遷. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 21-22, 大阪市
19. 中川幸洋, 前田孝浩, 太地良, 佐々木貴英, 南野和佳:当院における MELIF のコンセプトと将来展望. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 21-22, 大阪市
20. 岩崎博, 石元優々, 橋爪洋, 筒井俊二, 高見正成, 長田圭司, 寺口真年, 山田宏:外来診療に役立つ超音波ガイド下インターベンションの実践. 腰椎固定術後疼痛診療に役立つ超音波ガイド下インターベンション, 2024. 5. 福岡
21. 岩崎博, 石元優々, 深澤真弓, 村田鎮優, 神前拓平, 神前貴洋, 山田宏:超音波診療がもたらした光と影. 腰椎手術後腰痛に対する診断的治療. 脊椎エコー診療の光と影. 2024. 10. 東京
22. 野村和教, 吉田宗人, 中村陽介, 岡田基宏, 矢渡健一, 岡田紗枝, 曾和智子:脊柱管狭窄症に対する内視鏡下手術ーMEL の長所と短所についてー. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 大阪
23. 高見正成:LLIF にも劣らない理想的な MELIF を目指して. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会 アフタヌーンセミナー, 2024. 10. 大阪
24. 下江隆司:手外科領域における疫学研究、特定臨床研究の進め方. 第134回近畿手外科研究会, 2024. 3. 大阪(hybrid 開催)

25. 下江隆司：合同公開シンポジウム「メノポハンド(Menopausal Hand)」—薬物療法—，第67回日本手外科学会，2024. 4. 奈良
26. 下江隆司：手外科専門医が診る透析患者の手。整形外科と透析をつなぐ透析アミロイド症セミナー，2024. 5. 大阪(hybrid開催)
27. 下江隆司：更年期女性の手の悩み「メノポハンド」の啓発・診断と治療。尼崎市整形外科医会・尼崎市産婦人科医会合同学術講演会，2024. 8. 兵庫
28. 下江隆司：更年期世代の女性に多い手の不調「メノポハンド」。痛みの診療update ～QOL向上を目指して～，2024. 9. 和歌山
29. 下江隆司：手外科専門医の診る透析患者の手。第2回腎臓内科・整形外科 和歌山地域連携セミナー，2024. 9. 和歌山市
30. 下江隆司：整形外科医からみた更年期障害「メノポハンド」の啓発と治療戦略。京都産婦人科学会令和6年度学術集会，2020. 10. 京都
31. 下江隆司：整形外科医からみた更年期障害「メノポハンド」の認知向上と治療方針。第49回岡山県産科婦人科学会，2024. 11. 岡山
32. 下江隆司：手外科専門医の診る透析患者の手。腎臓内科・整形外科 新宮地域連携セミナー，2024. 11. 新宮
33. 寺口真年，中川雅文，峯玉賢和，長田圭司，中川幸洋，山田宏：腰曲がりに対する運動療法の効果とセルフエクササイズの限界。第143回中部日本整形外科災害外科学会，2024. 9. 神戸
34. 寺口真年，橋爪洋，長田圭司，石元優々，吉村典子，山田宏：腰痛の疫学 -The Wakayama Spine Study から得られた新知見-。第32回日本腰痛学会，2024. 10. 幕張
35. 寺口真年：頸部脊髄症に対する良好な成績を得るための治療戦略。第59回日本脊髄障害医学会，2024. 11. 沖縄
36. 深澤真弓：手の超音波診断・治療アップデート。第67回日本手外科学会学術集会，2024. 4. 奈良
37. 深澤真弓，深澤孝夫：末梢神経の描出法。日本超音波医学会第97回学術集会，2024. 6. 横浜
38. 村田鎮優，岩崎博，山田宏：成人脊柱変形手術後早期の臀部・鼠径部痛は仙腸関節障害の可能性がある—超音波ガイド下仙腸関節ブロックを用いた診断および治療の有用性-。第32回日本腰痛学会，2024. 10. 千葉

【以下、順不同】

39. 大江真人，南出晃人，種市洋。秘密のケンミン治療法2：低侵襲脊椎手術への取り組み。第14回最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)，2024. 6. 28-29. 倉敷

c) 全国学会

1. 谷口泰徳，松山雄樹，上野健，神藤一紀，木戸勇介：山歩きが原因と思われる母趾ガングリオンの2例。第49回日本足の外科学会学術集会，2024. 11. 東京
2. 松本卓二：新しい骨強度指標BRIによる骨折リスク評価と重症度分類の大腿骨近位部骨折における臨床的検討。第50回日本骨折治療学会学術集会，2024. 6. 仙台
3. 松本卓二：脊椎椎体骨折における骨折ドミノにおける骨折年齢、大腿骨の骨密度、体格指数と関連する。第50回日本骨折治療学会学術集会，2024. 6. 仙台
4. 松本卓二：骨粗鬆症性脆断性骨折における脊椎椎体骨折と大腿骨近位部骨折の骨折ドミノには体重と栄養指標が関連する。第50回日本骨折治療学会学術集会，2024. 6. 仙台
5. 松本卓二：骨質の指標とされる海綿骨構造指標は年齢ではなく、体格指数と関連する。第50回日本骨折治療学会学術集会，2024. 6. 仙台
6. 松本卓二：骨密度と骨質を組み合わせた骨レジリエンス指数の骨折識別能と重症度についての検討。第97回日本整形外科学会学術総会，2024. 5. 福岡
7. 松本卓二，橋本光司，貝持雄太，松本幾久子，田中麻友，新谷成令，船岡信彦：骨密度と骨質を組み合わせた骨強度指数の重症度における大腿骨近位部骨折識別能についての検討。第26回日本骨粗鬆症学会，2024. 10. 金沢
8. 松本卓二，橋本光司，貝持雄太，松本幾久子，田中麻友，新谷成令，船岡信彦：骨強度指数に基づく骨折リスクと椎体骨折の重症度評価。第26回日本骨粗鬆症学会，2024. 10. 金沢
9. 松本卓二，橋本光司，貝持雄太，松本幾久子，田中麻友，新谷成令，船岡信彦：骨密度とOSTAの骨折識別能の比較—骨粗鬆症性主要骨折における先進的な診断手法の精度解析—。第26回日本骨粗鬆症学会，2024. 10. 金沢
10. 麻殖生和博：腰椎神経根外側障害に対する脊椎内視鏡手術の有用性とPitfall。日本脊椎脊髄病学会，2024. 4. 横浜市

11. 筒井俊二, 村田鎮優, 橋爪洋, 岩崎博, 高見正成, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 山田宏: フレイルが成人脊柱変形の高齢患者の術後の入院経過に与える影響. 第14回日本成人脊柱変形学会, 2024. 3. 仙台
12. 筒井俊二, 村田鎮優, 橋爪洋, 岩崎博, 高見正成, 石元優々, 長田圭司, 中西竜一郎, 山田宏: フレイルは高齢成人脊柱変形患者の術後の退院先に影響する. 第53回日本脊椎脊髄病学会, 2024. 4. 横浜
13. 筒井俊二, 村田鎮優, 橋爪洋, 岩崎博, 高見正成, 石元優々, 長田圭司, 中西竜一郎, 山田宏: 高齢患者の成人脊柱変形手術後の経過にフレイルが与える影響. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
14. 筒井俊二, 高見正成, 中西竜一郎, 山田宏: 成人脊柱変形術後の合併症評価: Dindo-Clavien 分類法の適応. 第58回日本側弯症学会, 2024. 11. 福岡
15. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 中西竜一郎, 山田宏: 不安定性を伴う腰椎変性すべり症の治療成績 — 内視鏡下除圧術 vs 固定術 —. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 04. 横浜
16. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 中西竜一郎, 山田宏: 高齢者成人脊柱変形に対する矯正手術において矢状面の undercorrection は治療成績が劣るか. 第97回日本整形外科学会学術集会, 2024. 05. 福岡
17. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 中西竜一郎, 山田宏: 高齢者成人脊柱変形に対する矯正手術で矢状面の under correction では治療成績が劣るか? 第58回日本側弯症学会学術集会, 2024. 11. 福岡
18. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 中西竜一郎, 山田宏: 脊髄症を呈した中心性胸椎椎間板ヘルニアに対する経肋骨的内視鏡下髄核摘出術. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 大阪
19. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 中西竜一郎, 山田宏: 脊髄症を呈した中心性胸椎椎間板ヘルニアに対する経肋骨的内視鏡下髄核摘出術. 第37回日本内視鏡外科学会学術集会, 2024. 12. 福岡
20. 石元優々, 岩崎博, 中西竜一郎, 寺口真年, 長田圭司, 高見正成, 筒井俊二, 橋爪洋, 山田宏: 頸椎椎弓根スクリュー刺入後の椎骨動脈の血流評価 — 超音波検査による簡便な椎骨動脈評価. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 18. 横浜
21. 石元優々, 岩崎博, 中西竜一郎, 寺口真年, 長田圭司, 高見正成, 筒井俊二, 橋爪洋, 山田宏: 頸椎椎弓根スクリューを使用した頸椎後方固定術直後における超音波検査による椎骨動脈の血流評価. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 25. 博多
22. 石元優々: 外来で使えるおすすめエコーインターベンション 本当は怖い? エコーを使えば大丈夫? もやもや解消 初学者に向けたわかりやすい適応と注意すべき合併症「整形外科医がすすめる外来で使えるエコーしたインターベンション」重篤な脊椎疾患の鑑別を目指して. 第35回日本整形外科超音波学会, 2024. 10. 19.
23. 石元優々: 脊椎術後疼痛に挑む経肋骨的脊柱管形成術(TSCP)って何ですか? The 5th Neuro Musculoskeletal Ultrasound Online Meeting of SMAP, 2024. 9. 23
24. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: 大腿骨後顆プレカットの伸展位軟部組織バランスへの影響 — ROSA Knee システムによる術中評価. 第54回日本人工関節学会, 2024. 2. 23. 京都
25. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: ディープフェイク技術を応用した手術説明支援システム. 第18回日本CAOS学会, 2024. 3. 7. 宇部
26. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 三宅稜, 岸拓暉, 山田宏: 股関節疾患患者における大腿骨三次元形態計測. 第51回日本股関節学会学術集会, 2024. 10. 岡山
27. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 三宅稜, 岸拓暉, 山田宏: ロボット支援TKAとプレカット手技をつなぐ統合アプリケーション. 第2回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
28. 福井大輔, 西山大介, 山中学, 上野健, 殿尾守弘, 山田宏: MAKOを用いたTKAにおける靱帯バランスの骨切前予測値とインプラント挿入後の実測値の差. 第54回日本人工関節学会, 2024. 2. 23. 京都
29. 下江隆司, 南方邦彦, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 山田宏: 約50年経過した陳旧性モンテジア骨折に対してAccurio変形矯正システムを用いて矯正骨切り術を施行した1例. 第36回日本肘関節学会, 2024. 3. 札幌
30. 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 福井大輔, 山田宏: 膝周囲皮膚軟部組織欠損に対する腓腹筋移行術と創外固定を用いた関節固定術. 第37回日本四肢再建・創外固定学会, 2024. 3. 神戸
31. 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 岡敬之, 橋爪洋, 山田宏: 更年期世代の女性で手の変形性関節症に起因する疼痛へのエクオール摂取の有効性 — 多施設単群第II相試験 —. 第97回日本整形外科学会, 2024. 5. 福岡

32. 下江隆司, 橋爪洋, 松山雄樹, 林末統, 岩田勝榮, 木戸勇介, 村田顕優, 宮井信行, 山田宏: 手の変形性関節症における性差と中枢性感作-Wakayama Health Promotion Study-. 第39回日本女性医学学会学術集会, 2024. 11. 宇都宮
33. 寺口真年, 橋爪洋, 岡敬之, 長田圭司, 石元優々, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 吉田宗人, 吉村典子, 山田宏: Schmorl 結節 (SN) における関連因子の性差とその影響: 大規模住民コホートによる検討- The Wakayama Spine Study-. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
34. 寺口真年, 中川幸洋, 延與良夫, 前田孝浩, 太地良, 峯玉賢和, 山本義男, 中川雅文, 中谷友洋, 山田宏: 術前アライメント不良例に対する経皮的椎体形成術は術後腰痛を改善するが QOL を改善しない. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 横浜
35. 寺口真年, 中田朋紀, 神前貴洋, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 上田健太郎, 山田宏: 頸椎損傷患者におけるびまん性骨増殖症は神経障害重症化のリスク因子である. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 横浜
36. 寺口真年, 長田圭司, 石元優々, 高見正成, 筒井俊二, 岩崎博, 橋爪洋, 山田宏: 前期高齢者・後期高齢者の頸椎性脊髄症に対する手術戦略内視鏡下椎弓切除術と両開式椎弓形成術の比較. 第27回日本低侵襲脊椎外科科学会学術集会, 2024. 11. 大阪
37. 寺口真年, 中谷友洋, 峯玉賢和, 前田孝浩, 太地良, 中川幸洋, 山田宏: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する超早期経皮的椎体形成術の1年後の QOL と ADL への有効性. 第26回日本骨粗鬆症学会, 2024. 10. 金沢
38. 寺口真年, 橋爪洋, 木戸勇介, 佐々木貴英, 大西麻紀子, 牟礼佳苗, 宮井信行, 山田宏: 大規模コホート研究を用いた学童期における骨密度低下の要因について-KID loco study-. 第26回日本骨粗鬆症学会, 2024. 10. 金沢
39. 山中学, 西山大介, 福井大輔, 村田顕優, 上野健, 三宅稜, 山田宏: Portable navigation を用いた生体における関節包靱帯切離の影響. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
40. 前田孝浩, 中川幸洋, 佐々木貴英, 太地良, 山本悠太, 浅井宣樹: 脊椎内視鏡手術後のいきみ動作後に生じた髄液漏について. 第26回日本低侵襲脊椎外科科学会学術集会, 2023. 11. 福岡
41. 深澤真弓, 山田彬博, 山中学, 西尾尚子, 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 岩崎博, 山田宏, Jianguo G. Gu: A β 線維にも Nav1.8 陽性機械受容器は存在する-Pressure-clamped single-fiber recording による解析-. 第67回日本手外科学会学術集会, 2024. 4. 奈良
42. 深澤真弓, 神田浩里, 西尾尚子, 下江隆司, 岩崎博, 山田宏, Jianguo G. Gu: 軸索の伸長刺激は、静止膜電位を低下させることで神経の興奮性を抑制する-ラット坐骨神経における電気生理学的解析-. 第35回日本整形外科超音波学会, 2024. 10. 東京
43. 深澤真弓, 神埜聖治, 深澤弘行, 井上慎吾, 下江隆司, 岩崎博, 山田宏: 整形外科での迅速なエコーガイド下針生検により、腎細胞癌骨転移が根治し得た1例. 第35回日本整形外科超音波学会, 2024. 10. 東京
44. 深澤真弓, 山田彬博, 西尾尚子, 村田顕優, 松山雄樹, 木戸勇介, 下江隆司, 山中学, 岩崎博, 山田宏, Jianguo G. Gu: Nav1.8 陽性末梢神経の機能解析機械-Pressure-clamped single-fiber recording とオプトジェネティクスによる解析-. 第39回日本整形外科学会基礎学術集会, 2024. 10. 東京
45. 神藤一紀, 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 牟礼佳苗, 宮井信行, 橋爪洋, 山田宏: 小中学生におけるスマホの使用と手の疼痛に関する疫学調査-KID-Locono study-. 第67回日本手外科学会学術集会, 2024. 4. 奈良
46. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 山本悠太, 浅井宣樹, 寺口真年, 延與良夫: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する Balloon Kyphoplasty におけるセメント充填量と術後成績. 第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024.4. 横浜
47. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 山本悠太, 浅井宣樹, 寺口真年, 延與良夫: 経皮的椎体形成術においてセメント充填量が術後成績に及ぼす影響について. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024.5. 福岡
48. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 南野和佳, 浅井宣樹, 寺口真年, 延與良夫: 安全で確実な BKP を目指して-DCAT(Double Cement Application Technique)法-. 第14回最小侵襲脊椎治療学会, 2024.6. 岡山
49. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 南野和佳, 浅井宣樹: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する Double Cement Application Technique (DCAT) 法による経皮的椎体形成術. 第27回日本低侵襲脊椎外科科学会学術集会, 2024.11. 大阪
50. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 南野和佳, 浅井宣樹: VBS 術中に発生した下大静脈へのセメント漏出例の1年経過. 第27回日本低侵襲脊椎外科科学会学術集会, 2024.11. 大阪
51. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 南野和佳, 浅井宣樹: Syncha Fine Instruments を用いた内視鏡下硬膜縫合. 第27回日本低侵襲脊椎外科科学会学術集会, 2024.11. 大阪
52. 友松晃一: 地域住民における Cam deformity の疫学的指標と関連因子. 第39回日本整形外科基礎学術集会, 2024. 10. 東京

53. 木戸勇介, 下江隆司, 村田顕優, 松山雄樹, 山田宏: 指用イリザロフ創外固定器を活用したPIP 関節内開放性粉碎骨折の1 例. 第37 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会, 2024. 3. 22. 神戸市
54. 木戸勇介, 寺口真年, 牟礼佳苗, 佐々木貴英, 浅井宜樹, 大西麻紀子, 下江隆司, 上田真耶, 松坂美絵, 橋爪洋, 山田宏: 子どもロコモ健診における立ち上がりテストの有用性 -KID Locomo study-. 第97 回日本整形外科学会学術集会, 2024. 5. 26. 福岡市
55. 木戸勇介, 寺口真年, 牟礼佳苗, 佐々木貴英, 浅井宜樹, 大西麻紀子, 下江隆司, 長田圭司, 宮井信行, 橋爪洋, 山田宏: 子どもロコモチェックの有用性についての検討 -KID Locomo study-. 第97 回日本整形外科学会学術集会, 2024. 5. 26. 福岡市
56. 村田鎮優, 高見正成, 山田宏: 末梢神経幹電気刺激により頸髄症術後早期の予後予測が可能である. 第53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 横浜
57. 村田鎮優, 高見正成, 山田宏: 末梢神経幹電気刺激により頸髄症術後早期の予後予測が可能である. 第97 回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
58. 村田鎮優, 岩崎博, 山田宏: 腰椎内視鏡手術後の硬膜外血腫の評価にはMRI よりも超音波診断装置が有用である. 第97 回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
59. 神前拓平, 神前貴洋, 西山大介, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 山田宏, 川上守: 成人脊柱変形術後の股関節症術後5 年調査から. 第97 回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
60. 神前拓平, 神前貴洋, 西山大介, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 寺口 真年, 村上公英, 橋爪洋, 山田宏, 川上守: 成人脊柱変形術後に発生する変形性股関節症の5 年成績. 第53 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2024. 4. 横浜
61. 神前拓平, 清水敬親, 筒井俊二, 山本衛, 村田顕優, 中西竜一郎, 神前貴洋, 岩崎博, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 寺口正年, 橋爪洋, 山田宏, 川上守: 骨粗鬆をともなう脊柱変形矯正手術における頭側アンカーとしてのclaw hook と sublaminar wire の有用性: 有限要素法による解析. 第53 回日本脊椎脊髄病学会, 2024. 4. 横浜市
62. 神前拓平, 神前貴洋, 西山大介, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 寺口真年, 山田宏, 川上守: 成人脊柱変形術後に発生する変形性股関節症の5 年成績. 第97 回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡市
63. 神前拓平, 橋爪洋, 筒井俊二, 村田顕優, 中西竜一郎, 神前貴洋, 山田宏, 川上守: 腰椎骨盤固定術における骨盤固定強は股関節の応力を増加させる. 第97 回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡市
64. 神前拓平, 川上守, 古梅祐, 山崎悟, 藤木貴顕, 坂井智: びまん性特発性骨増殖症を伴う椎体骨折の臨床的特徴. 第42 回日本骨代謝学会学術集会, 2024. 6. 那覇市
65. 神前拓平, 長田圭司, 橋爪洋, 岩崎博, 西山大介, 寺口真年, 神前貴洋, 山田宏: 腰椎骨盤固定術後の隣接関節障害としての変形性股関節症: 5 年追跡調査から. 第12 回 Japan Association of Spine Surgeons with Ambition, 2024. 8. 金沢市
66. 神前拓平, 神前貴洋, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 長田圭司, 石元優々, 寺口真年, 村上公英, 中西竜一郎, 山田宏, 川上守: 脊椎固定術後の股関節症-術後5 年フォローから-. 第33 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2024. 9. 札幌市
67. 神前拓平, 川上守, 古梅祐, 山崎悟, 藤木貴顕, 野田雄祐: びまん性特発性骨増殖症(DISH) を伴う骨粗鬆症性椎体骨折は下位腰椎に多く発生し椎間不安定性と関連する. 第26 回日本骨粗鬆症学会, 2024. 10. 金沢市
68. 神前拓平, 川上守, 山崎悟, 藤木貴顕, 野田雄祐, 古梅祐, 山田宏: 脊椎骨盤固定術は隣接関節である股関節モーメントを増加させる. 第39 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2024. 10. 新宿区
69. 下程俊弥, 米良好正, 福井大輔, 岩橋弘樹, 村田鎮優, 谷上正純, 川村晃大, 北野陽二: TKA 後の膝蓋骨脱臼に対しFulkerson 法とMPFL 再建を併用した1 例. 第54 回日本人工関節学会学術集会, 2024. 2. 京都
70. 下程俊弥, 村田鎮優, 米良好正, 岩橋弘樹, 川村晃大, 北野陽二, 山田宏: 90 歳以上的大腿骨近位部骨折患者に初めて骨粗鬆症治療薬を導入することは二次骨折予防に有用なのか. 第97 回日本整形外科学会学術集会, 2024. 5. 福岡
71. 下程俊弥, 米良好正, 福井大輔: エコーガイド下穿刺が初期治療に有用であった膝関節内ガングリオンの2 例. 第2 回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
72. 山本章, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 岸拓暉, 山田宏: 大腿骨後顆プレカットの伸展位内外反バランスへの影響 -ROSA Knee システムによる術中評価-. 第2 回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
73. 上野健, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 岸拓暉, 山田宏: MAK0 によるdynamic joint balancing を用いた joint laxity 予測値の正確性についての検討. 第2 回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
74. 村田顕優, 筒井俊二, 山本衛, 神前拓平, 中西竜一郎, 神前貴洋, 山田宏: 骨粗鬆症脊椎に椎弓根スクリューを刺入する際には椎体上位前方隅角に至るスクリューを選択すべきである-有限要素解析-. 第14 回日本成人脊柱変形学会, 2024. 3. 23. 仙台

75. Akimasa Murata, Shunji Tsutsui, Ei Yamamoto, Takuhei Kozaki, Ryuichiro Nakanishi, Takahiro Kozaki, Hiroshi Yamada : Bicortical pedicle screws in the cephalad trajectory are the best option in osteoporotic lumbar vertebrae: A finite element analysis 第53回日本脊椎椎病学会学術集会, 2024. 4. 18. 横浜
76. 村田顕優, 筒井俊二, 山本衛, 神前拓平, 中西竜一郎, 神前貴洋, 山田宏: 骨粗鬆症脊椎に椎弓根スクリューを刺入する際には椎体上位前方隅角に至るスクリューを選択すべきである: 有限要素解析 第93回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 23. 福岡
77. 古梅祐, 坂井智, 中谷潤, 藤木貴顕, 山崎悟, 川上守: 当院の骨折リエゾンサービスチームの取組み. 第76回済生会学会済生会総会, 2024. 1. 熊本
78. Kobai Y, Sakai S, Kouzaki T, Fujiki T, Yamazaki S, Kawakami M: The importance of preventing secondary fractures in vertebral fractures. 第42回日本骨代謝学会学術集会, 2024. 6. 沖縄
79. 古梅祐, 坂井智, 神前拓平, 藤木貴顕, 山崎悟, 川上守: 当院骨折リエゾンサービスの特徴—大腿骨近位部、椎体骨折、サルコペニア—. 第26回日本骨粗鬆症学会学術集会, 2024. 10. 石川
80. 貝持裕太, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 上野健, 山田宏: 骨成熟前の反復性膝蓋骨脱臼に対し内側膝蓋大腿靱帯再建術を施行した1例. 第36回関西関節鏡・膝研究会, 2024. 3. 京都
81. 貝持裕太, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 上野健, 山田宏: 骨端線閉鎖前の反復性膝蓋骨脱臼に対し内側膝蓋大腿靱帯再建術を施行した1例. 第142回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2024. 4. 鳥取
82. 貝持裕太, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 岸拓輝, 山田宏: 人工膝関節全置換術後のmetallosisに対し腫瘍用人工関節による再建術を施行した1例. 第2回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
83. 南野和佳, 佐々木貴英: 新鮮アキレス腱断裂に対する超音波ガイド下経皮的縫合術の1例—modified PARS technique—, 第49回日本足の外科学会学術集会, 2024. 11. 東京
84. Kozaki T, Teraguchi M, Nakata T, Nagata K, Ishimoto Y, Takami M, Yamada H : The association between DISH and OPLL in cases of Cervical Spinal Cord Injuries. The 53rd Annual Meeting of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research, 2024.4. Yokohama
85. 神前貴洋, 寺口真年, 中田朋紀, 長田圭司, 石元優々, 高見正成, 山田宏: 頸椎損傷症例におけるびまん性特発性骨増殖症と後縦靱帯骨化症の関連性 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
86. 神前貴洋, 石元優々, 村田鎮優, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 井上慎吾, 山田宏: 超音波検査ドブラ法で髄液の動きを感知できるのか?. 第35回日本整形外科超音波学会, 2024. 10. 東京
87. 岸拓輝, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山本章, 山田宏: TKAにおける術中動的関節弛緩性評価の信頼性—ROSA Knee システムによる評価—. 第2回日本膝関節学会, 2024. 12. 沖縄
88. 山本悠太, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 太地良, 浅井宣樹, 寺口真年, 延與良夫: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術—胸腰移行部と下位腰椎の成績比較—. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡

【以下、順不同】

89. 山本義男, 峯玉賢和, 中谷友洋, 太地良, 佐々木貴英, 前田孝浩, 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術後のテリパラチド製剤の導入と継続に関する状況と問題点. 第26回日本骨粗鬆症学会, 2023. 10. 石川
90. 中谷友洋, 峯玉賢和, 寺口真年, 中川雅文, 山本義男, 吉村咲愛, 左近奈菜, 畑中凌太, 畑中若菜, 中川幸洋: 経皮的椎体形成術の新規椎体骨折の予測には均質の評価が有効である. 第26回日本骨粗鬆症学会, 2023. 10. 石川
91. 峯玉賢和, 川上守, 寺口真年, 中川雅文, 山本義男, 中谷友洋, 吉村咲愛, 左近奈菜, 中川幸洋: 腰部脊柱管狭窄症に対する保存療法における歩行距離と身体活動量の最小臨床的重要差. 第32回日本腰痛学会, 2024. 10. 千葉
92. 有田智氏, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: 骨盤の三次元的な運動特徴量を用いた勾配ブースティング決定木モデルの転倒予測精度. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024. 5. 福岡
93. 有田智氏, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: 骨盤の三次元的な運動特徴量を用いた転倒リスク分類モデルの転倒予測精度. 第40

回日本義肢装具学会, 2024. 11. 福岡

94. 大江真人、南出晃人、種市 洋. 内視鏡下腰椎側方椎体間固定術 (Microendoscopic Lateral Lumbar Interbody Fusion: MELIF) による間接减压の治療成績. 第27回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 21-22. 大阪市

d) 地方学会

1. 谷口泰徳, 松山雄樹, 上野健, 神藤一紀, 木戸勇介: 山歩きが原因と思われる母趾ガングリオンの2例. 第143回中部日本整形外科災害外科学会学術集会, 2024. 10. 神戸市
2. 高見正成, 橋爪洋, 岩崎博, 筒井俊二, 長田圭司, 山田宏: 脊髄症を呈した中心性胸椎椎間板ヘルニアに対する経肋骨的内視鏡下髓核摘出術. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 04. 米子
3. 高見正成, 筒井俊二, 石元優々, 長田圭司, 寺口真年, 山田宏: 高齢者成人脊柱変形に対する矯正手術で矢状面の under correction では治療成績が劣るか? 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 神戸
4. 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山本章, 山田宏: 生成AI技術を応用した手術説明支援システムの構築. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 10.
5. 西山大介: 成人脊柱変形に対する広範囲脊柱矯正固定術後のTHA脱臼予測. 第23回Osaka Hip Meeting under 50 大阪, 2024. 3. 23.
6. 西山大介: スマートフォンを用いた歩行解析 -スポーツ・医療への応用-. 和歌山県医師会主催日医認定健康スポーツ医学再研修会, 2024. 4. 和歌山
7. 西山大介: 関節リウマチの手術・リハビリテーションについて. 和歌山リウマチ市民公開講座, 2024. 11. 和歌山
8. 福井大輔, 岸拓暉, 西山大介, 山中学, 殿尾守弘, 山田宏: ロボット支援人工膝関節手術 MAKOによるdynamic joint balancingを用いたTKAにおける骨切り前gap予測値とインプラント設置後実測値の差. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 米子
9. 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 山田宏: 手根管症候群の再手術. -その原因と予防策の検討-. 第41回中部日本手外科学会, 2024. 1. 松本
10. 寺口真年, 木戸勇介, 佐々木貴英, 大西麻紀子, 橋爪洋, 山田 宏: 大規模コホート研究を用いた学童期における骨密度低下の要因について -KID loco study-. 第143回中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 10. 神戸
11. 平一裕: 上腕骨骨幹部骨折の髄内釘手術における腱板疎部アプローチ. 第11回 和歌山最小侵襲整形外科学会, 2024. 1.
12. 平一裕: 和歌山医大救急部で経験した4年間の外傷治療. 和歌山骨関節靭帯フォーラム, 2024. 9.
13. 山中学, 西山大介, 福井大輔, 原田徳志, 玉井英伸, 山本章, 上野健, 山田宏: AL supine approach THAにおける関節包靭帯切離の影響と修復の効果の検討. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 13.
14. 前田孝浩, 中川幸洋, 佐々木貴英, 太地良, 岸拓暉: 経皮的椎体形成術における成績不良例の検討. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 和歌山
15. 前田孝浩, 中川幸洋, 佐々木貴英, 太地良, 岸拓暉: 骨粗鬆症性椎体骨折患者に対する経皮的椎体形成術の術後成績に及ぼす認知症の影響について. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 和歌山
16. Takahiro Maeda, Yukihiro Nakagawa, Takahide Sasaki, Ryo Taiji, Yoshio Enyo: Comparison of postoperative outcomes between Balloon Kyphoplasty(BKP) and Vertebral Body Stenting(VBS) for osteoporotic vertebral fractures. 第53回日本脊椎脊髄病学会, 2024. 4. 神奈川
17. 前田孝浩, 中川幸洋, 佐々木貴英, 太地良, 岸拓暉: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術の術後成績に及ぼす認知症の影響について. 第14回日本最小侵襲脊椎治療学会, 2024. 6. 岡山
18. 前田孝浩, 中川幸洋, 佐々木貴英, 太地良, 南野和佳: 正中縦割式頸椎椎弓形成術における東北医科薬科大式低侵襲開創器の使用経験. 第143回中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 10. 兵庫
19. 前田孝浩, 中川幸洋, 太地良, 佐々木貴英, 南野和佳: 経皮的椎体形成術の術後成績と認知症の程度の関連について. 第27回日本定脊椎外科学会, 2024. 11. 大阪
20. 神藤一紀, 下江隆司, 寺口真年, 橋爪洋, 山田宏: 小中学生のスマホ使用状況と手の疼痛は関連するか-KID Locomo study-. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 神戸

21. 村上公英:画像・電気生理学的診断が不適合であった腰椎重複病変症例の術後成績. 第142回中部整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 鳥取
22. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 南野和佳, 浅井宜樹: 当院における経仙骨的脊柱管形成術 (TSCP) の治療成績. 第143回中部日本整形外科災害外科学会, 2024.10. 神戸
23. 大西麻紀子, 寺口真年, 佐々木貴英, 木戸勇介, 橋爪洋, 山田宏: 大規模コホート研究を用いた学童期の姿勢異常の実態調査-KID Locomo study-. 第143回中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 10. 神戸
24. 木戸勇介, 谷口裕亮, 殿尾守弘: 高齢者の骨折件数と気温の関係. 第34回和歌山県整形外科医会学術集会, 2024. 2. 10. 和歌山市
25. 木戸勇介, 寺口真年, 佐々木貴英, 大西麻紀子, 橋爪洋, 山田宏: 子ども運動器健診において立ち上がりテストは簡便に運動能力を評価し得る -KID Locomo study-. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 5. 神戸市
26. 下程俊弥, 米良好正, 岩橋弘樹, 村田鎮優, 角能青空, 北野陽二: 膝関節内ガングリオンに対してエコーガイド下穿刺を施行した2例. 中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 10. 神戸
27. 上野健, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 殿尾守弘, 山田宏: 側半月板後根損傷に対する pull out repair 後の膝関節エコーを用いた半月板動態評価. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 米子
28. 川村晃大, 村田鎮優, 米良好正, 岩橋弘樹, 下程俊弥, 北野陽二: 骨幹端粉碎を伴う橈骨遠位端骨折患者には高率に二次骨折が発生する. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 和歌山
29. 川村晃大, 村田鎮優, 米良好正, 岩橋弘樹, 下程俊弥, 北野陽二: 骨幹端粉碎を伴う橈骨遠位端骨折患者には高率に二次骨折が発生する. 第142回中部日本整形外科災害外科学会 学術集会, 2024. 4. 鳥取
30. 星野晃廣, 辻本修平, 瀧口登, 中村正亨, 延與良夫: 膝後外側回旋不安定性を伴う腓骨頭骨折 (arcuate sign) の1例. 和歌山県整形外科医会第34回学術集会, 2024. 2. 10. 和歌山市
31. 村田鎮優, 下江隆司, 中谷潤, 神前貴洋, 松山雄樹, 山田宏: 母指MP関節に生じた橈側種子骨障害の1例. 第142回中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 4. 13. 米子
32. 古梅祐, 坂井智, 神前拓平, 藤木貴顕, 山崎悟, 川上守: 骨粗鬆症から見てくる今後の医療の在り方. 第143回中部日本整形外科学会学術集会, 2024. 10. 兵庫
33. 三宅稜, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 上野健, 山田宏: 上腕骨近位部陳列性骨腫瘍による切迫性骨折に対して鏡視下髓内釘挿入術を行った1例. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 米子
34. 貝持裕太, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 上野健, 山田宏: 小児反復性膝蓋骨脱臼に対し骨端線への侵襲を避け内側膝蓋大腿靭帯再建術を施行した1例. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 13. 和歌山
35. 貝持裕太, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: 腫瘍性骨軟化症を伴ったFGF23産生腫瘍に対して骨腫瘍切除術を施行した1例. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 10. 和歌山
36. 貝持裕太, 福井大輔, 西山大介, 山中学, 上野健, 山田宏: 骨端線閉鎖前の反復性膝蓋骨脱臼に対し内側膝蓋大腿靭帯再建術を施行した1例. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 米子
37. 貝持裕太, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 岸拓暉, 山田宏: 人工股関節再置換術後に坐骨疲労骨折を生じた1例. 第92回和歌山医学会総会, 2024. 9. 和歌山
38. 坂井智, 西山大介: 離断性骨軟骨炎を合併した骨幹端異形成症の1例. 和歌山関節外科の会, 2024. 1. 27.
39. 南野和佳, 籠谷良平, 峠康, 麻殖生和博, 岩田勝栄, 平一裕, 大西麻紀子, 野中研人, 中谷如希: 広範囲脊椎固定術後の下位隣接椎体骨折に対して経皮的椎体形成術を行った2例. 第21回和歌山MIOSフォーラム, 2024. 1. 和歌山
40. 南野和佳, 前田孝浩, 佐々木貴英, 太地良, 中川幸洋: 頸椎後方除圧固定術後に出現した上肢痛に対してエコーガイド下神経根ブロックが著効した1例. 第92回和歌山医学会総会, 2024. 9. 和歌山
41. 南野和佳, 前田孝浩, 佐々木貴英, 太地良, 中川幸洋: 頸椎後方除圧固定術後に出現した上肢痛に対してエコーガイド下神経根ブロックが著効した1例. 第143回中部日本整形外科災害外科学会, 2024. 10. 兵庫
42. 南野和佳, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 太地良: 変性疾患に対する腰椎除圧術後の Revision Surgery としての MELIF (内視鏡下腰椎椎体間固定術) の有用性. 第24回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2024. 11. 大阪
43. 神前貴洋: 大規模住民コホートにおける腰椎すべりの信仰について-10年間の追跡調査からの知見-. 第142回中部日本整形外科災害外科

学会・学術集会, 2024. 4. 鳥取

44. 神前貴洋, 石元優々, 村田鎮優, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 井上慎吾, 山田宏: 頸椎採取術後に発生した髄液漏の診断に対して超音波検査が有用であった一例. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 神戸
45. 岸拓暉, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山田宏: 人工膝関節置換術支援ロボット ROSA における関節弛緩性評価の信頼性. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 13.
46. 岸拓暉, 西山大介, 福井大輔, 山中学, 上野健, 山本章, 山田宏: コンピュータ支援人工膝関節置換術における動的弾性評価の検者間信頼性の検討. 第92回和歌山医学会総会, 2024. 9. 和歌山
47. 岸拓暉, 福井大輔, 下江隆司, 南方邦彦, 山田宏: BCG ワクチン接種による脛骨骨髓炎の一例. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 兵庫
48. 山本悠太, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 玉井英伸, 原田悌志, 山本章, 上野健, 山田宏: 高度肥満症例に対する AL supine PATH システムを用いた最小侵襲 THA の一例. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 13. 和歌山
49. 山本悠太, 中川幸洋, 前田孝浩, 太地良, 佐々木貴英, 岸拓暉, 北裏清剛, 尾崎良行: Revision 手術として内視鏡下腰椎椎体間固定術 (MELIF) を行った2例. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 和歌山
50. 山本悠太, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 上野健, 三宅稜, 小島史好, 目佳奈子, 山田宏: 人工股関節置換術を契機にアルカプトン尿症性関節症の診断に至った1例. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 10.
51. 山本悠太, 山中学, 西山大介, 小島史好, 目佳奈子, 山田宏: 人工股関節置換術を契機に診断されたアルカプトン尿症性関節症の1例. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 米子
52. 山本悠太, 寺口真年, 岩崎博, 長田圭司, 石元優々, 山田宏: 腰部脊柱管狭窄症患者に対する経仙骨的脊柱管形成術 (TSCP) の良好な適応について. 第92回和歌山医学会総会, 2024. 9. 和歌山
53. 山本悠太, 寺口真年, 岩崎博, 長田圭司, 石元優々, 山田宏: 腰部脊柱管狭窄症患者に対する経仙骨的脊柱管形成術 (TSCP) の良好な成績を得るための適応について. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 兵庫

【以下、順不同】

54. 京極恵理子, 木村有香子, 青山友香, 三木明美, 仲谷智亜妃, 佐藤誠治, 岡野和代, 中尾彩乃, 中川幸洋: 2 椎体の骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP における骨セメント準備. 第28回関西 MIST 研究会. 2023. 10. 19. 大阪市
55. 村井楠志, 村田鎮優, 山田宏: 腰椎椎体の形態学的特徴が腰部脊柱管の放射線学的狭窄と症候性狭窄に与える影響. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 神戸
56. 林大貴, 村田鎮優, 山田宏: 頸椎前方除圧固定術におけるブレード付きチタンコーティング PEEK ゲージの有効性—骨癒合率と手術成績—. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 神戸
57. 角能青空, 村田鎮優, 米良好正, 下程俊弥, 北野陽二, 山田宏: 90 歳以上の大腿骨近位部骨折患者に初めて骨粗鬆症治療薬を導入することは二次骨折予防に有用なのか. 第142回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 4. 鳥取
58. 角能青空, 村田鎮優, 岩崎博, 岩橋弘樹, 北野陽二, 山田宏: 腰椎内視鏡手術後の硬膜外血腫の評価には MRI よりも超音波診断装置が有用である. 第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2024. 10. 兵庫

e) その他 フォーラム、セミナー、研究会、講習会、ワークショップ等

1. 松本卓二: 高齢大腿骨近位部骨折患者における人参栄養湯投与による体重減少の改善と睡眠満足度に及ぼす影響の検討. 第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2024. 2. 横浜
2. 松本卓二: 整形外科における栄養状態への介入の必要性和漢方の有用性. 第33回オホーツク骨粗鬆症研究会, 2024. 7. 北海道
3. 松本卓二: 海綿骨構造指標 TBS (Trabecular Bone Score) について. テイジン近畿支部研修会 2024, 2024. 9. 和歌山
4. 松本卓二: 静かに忍び寄る病気骨粗鬆症. 2024 年野上厚生総合病院 病院祭り学術講演, 2024. 10. 和歌山
5. 松本卓二: 整形外科領域における栄養状態への介入の必要性和漢方の有用性. 第3回クラシエ酒井整形外科漢方セミナー, 2024. 3. 大阪
6. 南出晃人: 高齢化社会における脊椎手術治療マネジメント: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する Vertebral Augmentation と薬物治療の選択. 2024. 2. 29. Web講演
7. 南出晃人: 高齢化社会における骨粗鬆症治療マネジメント: 脊椎内視鏡手術のエビデンスとさらなる進化. 第551回岩手整形外科災害

外科懇談会, 2024. 4. 13. 盛岡市

8. 南出晃人: 人生100年時代を支える脊椎外科診療を考える. 札幌 Spine Expert Meeting, 2024. 10. 18. Web講演,
9. 南出晃人: 脊椎疾患に伴う神経障害性疼痛の診断と治療. 地域で支える疼痛治療-健康寿命延伸に向けて, 2024. 10. 30. 日光市, Web講演
10. 南出晃人: 人生100年時代を支える脊椎外科診療を考える. 和歌山県立医科大学整形外科学教室同門会総会 学術講演, 2024. 11. 16. 和歌山市
11. 南出晃人: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する早期外科治療の役割と薬物治療の重要性. 宇都宮市医師会学術講演会, 2024. 12. 4. 宇都宮市, Web講演
12. 南出晃人: 超高齢化社会における脊椎外科診療を考える: 低侵襲脊椎手術の役割. Osteoporosis Expert Meeting, 2024. 12. 6. 仙台市
13. 南出晃人: 超高齢化社会における脊椎外科診療を考える: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療の最適化. 骨粗鬆症セミナーin 越谷・草加, 2024. 12. 11. Web講演
14. 南出晃人: 経皮的椎体形成術 (VBS) ファカルティライセンス取得セミナー. 2024. 2. 24-26. 台中(台湾)
15. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 3. 26. 日光市
16. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 4. 8. 和歌山市
17. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 6. 11. 日光市
18. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 7. 8. 和歌山市
19. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 8. 26. 和歌山市
20. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 9. 10. 日光市
21. 南出晃人: 経皮的椎体形成術ライセンス (VBS) 取得セミナー. 2024. 11. 18. 和歌山市
22. Yukihiko Nakagawa: MIS lumbar surgery; case and pitfall. 2024 Meet the Masters Advanced spine care management symposium in OSAKA, Feb3, 2024, Granpark Yoshino, Nara
23. 中川幸洋: 高齢化社会における脊椎低侵襲手術の意義と実際. 水戸整形外科手術セミナー 第13回スプリングキャンプ, 2024. 3. 1. 水戸市
24. 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折における薬剤選択について. 骨粗鬆症を考える会 in 紀南, 2024. 3. 14. 和歌山市 web 配信
25. 中川幸洋: 第22回脊椎脊髄病研修コース IIIコース (脊椎内視鏡手術コース). MED 手術: 基本手技と頸椎から腰椎まで, 2024. 4. 20. 札幌
26. 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折における薬剤選択について. 骨粗鬆症治療を考える会, 2024. 8. 3. 奈良県産業会館
27. 中川幸洋: MELIF について (microendoscopic lumbar interbody fusion). 第4回 関西医大MIST手術手技セミナー, 2024. 8. 29-31. 枚方市
28. 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術と包括的周術期ケアについて. アステラス臨床セミナー, 2024. 9. 24. 和歌山市
29. 中川幸洋: 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成術と包括的周術期ケアについて. 奈良骨粗鬆症セミナー2024, 2024. 11. 15. 橿原オークホテル
30. 中川幸洋: 脊椎内視鏡下手術 (総論). 第26回 日本整形外科学会脊椎内視鏡下手術・技術講習会, 2024. 11. 23. 神戸医療機器開発センター (MEDDEC)
31. 中川幸洋: 一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会 第22回脊椎脊髄病教育研修コース. 第IIIコース: 脊椎内視鏡手術コース MED, 2024. 4. 20. 横浜
32. 麻殖生和博: 痛みに対するアプローチ-薬物療法の実践-. 久光製薬医薬情報担当者教育研修会, 2024. 2. 和歌山市
33. 麻殖生和博: 神経障害性疼痛に対する薬物治療の実践～服薬アドヒアランス向上を目指して～. 和歌山中堅若手整形外科勉強会, 2024. 3. 和歌山市
34. 麻殖生和博: 神経障害性疼痛に対する薬物治療の実践～服薬アドヒアランス向上のために～. 第12回紀泉薬剤師地域連携講演会, 2024. 3. 和歌山市
35. 麻殖生和博: 疼痛に対する薬物治療の実践-ジクトルテープの有用性-. ジクトルテープ75mg 発売3周年記念講演会, 2024. 9. 田辺市

36. 岩崎博：超実践！超音波ガイド下インターベンションセミナー ハイドロリリース再考 ～今考える適応：脊椎外科医の視点編～. 脊椎外科医が考えるハイドロリリースの適応と限界-頸部編-, 2024. 1. 26. Web
37. 岩崎博：脊椎脊髄疾患診療に役立つ超音波ガイド下インターベンション～目をつぶっていませんか？～. 第1回金沢脊椎エコーセミナー, 2024. 1. 27. Web
38. 岩崎博：脊椎術後疼痛診療に役立つ超音波ガイド下インターベンション～神経障害性疼痛治療のために～. 山形整形外科研究会 疼痛セミナー (第118回山形整形外科セミナー), 2024. 2. 9. 山形
39. 岩崎博：頸椎の超音波診断法 第59回整形外科エコーセミナー, 2024. 4. 28. 金沢
40. 岩崎博：脊椎エコーについて知っておくべきこと. 帝人ヘルスケア株式会社社内研修会, 2024. 5. 14. 和歌山
41. 岩崎博：ハンズオン 頸椎神経根, わちゃわちゃ系エコーセミナーin さいとう整形リウマチ科, 2024. 5. 19. 名古屋
42. 岩崎博：脊椎エコーを用いた診断的治療-神経障害性疼痛治療のためにエコーを使ってみませんか？-, 2024. 7. 17. 高知
43. 岩崎博：頸椎神経根ブロックのすべて. わちゃわちゃ系エコーセミナーin まえた整形外科, 2024. 9. 15. 奈良
44. 岩崎博：脊椎脊髄疾患に対する診断的治療「背骨にエコーは必要か？」. 2024. 11. 23. 岐阜
45. 高見正成：脊椎椎体骨折の治療-新鮮例から陳旧例までの各種病態への対応. 第152回和歌山臨床整形外科医会研修会, 2022. 3. 26. 和歌山
46. 高見正成：整形外科医を対象とした献体を用いた脊椎外科領域の手術手技実習. 2024. 2. 3. 和歌山
47. 延與良夫：高齢者の脊椎変性疾患における診断のピットフォール. 紀南地区骨粗鬆症連携会, 2024. 2. 16. 田辺市
48. 延與良夫：あなたの骨は大丈夫？ 骨粗鬆症について. 南和歌山医療センター 健康フェスタ, 2024. 12. 7. 田辺市
49. 谷口隆哉：Full HA stemセミナー, 2024. 07. 10. Web セミナー
50. 谷口隆哉：Actis stem セミナー, 2024. 10. 20. Web セミナー
51. 谷口隆哉：MIS-THA セミナー, 2024. 10. 06. Web セミナー
52. 谷口隆哉：第54回日本人工関節学会 一般演題・ポスター 座長 2024. 02. 23. 京都国際会議場
53. 谷口隆哉：メンリック座談会 2024. 08. 25
54. 谷口隆哉：第一三共セミナー 2024. 09. 30
55. 谷口隆哉：1st. Computer Asisted Operative Surgery Meeting in Tokyo 2024. 03. 23, 24
56. 石元優々：和歌山放送 ラジオ健康講座, 2024. 1. 10
57. 石元優々：われわれがおこなっている脊椎手術のいろいろ. 帝人ファーマ株式会社 社内講演, 2024. 1. 29
58. 石元優々：人生100年、痛みなく逝きたい-エコーを用いた運動器疾患へのアプローチ-. ジクトルテープ 75mg 効能追加1周年記念講演会, 2024. 2. 15. 静岡
59. 石元優々：エコー下頸椎神経根ブロックについて -エコーは分野を超える！脊椎専門でないけど打てる！-. Seminar for Safe Cervical Surgery 2024, 2024. 2. 24. 名古屋
60. 石元優々：Seminar for Safe Cervical Surgery 2024, 2024. 2. 25. 名古屋
61. 石元優々：人生100年時代、余命を楽しむ！～骨の管理～. 骨粗鬆症を乗り越える ～骨を管理する時代へ～, 2024. 3. 19. 海南
62. 石元優々：和歌山放送 ラジオ健康講座, 2024. 4. 8
63. 石元優々：人生100年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. 田辺薬剤師会研修会, 2024. 6. 6
64. 石元優々：人生100年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. 実臨床で使える、疼痛マネジメントセミナー, 2024. 6. 20
65. 石元優々：ラジオ健康講座収録, 2024. 7. 2
66. 石元優々：若手医師のための整形外科セミナー, 2024. 7. 19
67. 石元優々：ラジオ健康講座収録, 2024. 7. 24
68. 石元優々：人生100年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. ジクトルテープ 75mg 発売3周年記念講演会, 2024. 8. 3. 岐阜
69. 石元優々：和歌山から・・・いっぱいエコー使ってみました！ -救急に、脊椎に、そして研究に-. ジクトルテープ 75mg 発売3周年記念講演会, 2024. 8. 10. 奈良
70. 石元優々：人生100年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. Pain Live Symposium in Wakayama, 2024. 8. 21
71. 石元優々：初学者のためのエコーハンズオン. 2024. 8. 24

72. 石元優々：人生 100 年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. Pain Live Symposium in Wakayama, 2024. 8. 29
73. 石元優々：人生 100 年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. Pain Live Symposium in Wakayama, 2024. 9. 5
74. 石元優々：とにかくいっぱいエコー使います！-救急に、神経障害性疼痛治療に、そして研究に-. エコー診療の最前線 2024 in Kochi, 2024. 9. 27
75. 石元優々：人生 100 年時代を迎えた疼痛治療～痛みなく逝きたい～. Pain Live Symposium in Wakayama, 2024. 9. 30
76. 石元優々：初学者のためのエコーハンズオン. 2024. 10. 12
77. 石元優々：高齢者のスポーツ、運動について -低侵襲手術・エコーでサポートします-. 健康スポーツ医学再研修会, 2024. 10. 26
78. 石元優々：ラジオ健康講座収録, 2024. 10. 31
79. 石元優々：高齢者の脊椎の痛みと手術-骨粗鬆症薬の選択は？-. 骨粗鬆症治療 WEB チャンネル-連日投与製剤の有効性を考える-, 2024. 11. 1
80. 石元優々：ラジオ健康講座収録, 2024. 11. 13
81. 石元優々：ウルトラエコーソウルー救急に、神経障害性疼痛治療に、そして研究に一. 疼痛治療と治療満足度の向上を考える会, 2024. 11. 21. 東牟婁
82. 西山大介：THA 脱臼予防のための脊柱変形矯正固定術後の骨盤傾斜予測. S+N hip Forum -Aiming for a personalized Hip 2024. 11. 大阪
83. 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 山田宏：母指形成不全を伴う両側母指多指症の 1 例 -母指化術、指列切除と腱移行術-. 第 34 回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 和歌山
84. 下江隆司：更年期世代の女性に多い手の不調 -メノポハンド-. 和歌山県立医科大学令和 6 年度第 2 回最新の医学・医療カンファランス, 2024. 6. 和歌山
85. 下江隆司：災害医療 来る南海トラフに備える -Preventable Disaster Death, Preventable Functional Loss に対する教育の取り組み-. 北海道大学病院 第 2 回先端医療技術教育研究開発センター座談会, 2024. 9. 北海道
86. 前田孝浩：慢性腰痛、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア. 河崎リハビリテーション大学講義, 2024. 12. 11
87. 前田孝浩：骨折治療と術後管理・早期リハ. 河崎リハビリテーション大学講義, 2022. 12. 18
88. 深澤真弓：運動器エコー Basic. 第 15 回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会&RJN 合同ワークショップ「初めてのエコーセミナー」, 2024. 3. 佐賀
89. 深澤真弓：運動器エコー Advance. 第 15 回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会&RJN 合同ワークショップ「初めてのエコーセミナー」, 2024. 3. 佐賀
90. 深澤真弓：初心者のための運動器エコー. 第 64 回関東整形災害外科学会, 2024. 3. 横浜
91. 深澤真弓：診察室で行うばね指徹底攻略. 超実践!! 超音波ガイド下インターベンションセミナー あるある疾患攻略ガイド-病態から考える治療-, 2024. 8. WEB 開催
92. 深澤真弓：転倒予防に活かすエコーちょいあて -運動器の診断と治療-. 日本転倒予防学会第 11 回学術集会&リハビリテーション科女性医師ネットワーク (RJN) 合同ワークショップ 「初めてのエコーセミナー IN SAGA」, 2024. 11. 佐賀
93. 太地良, 中川幸洋, 前田孝弘, 佐々木貴英, 山本悠太, 浅井宜樹：経仙骨の脊柱管形成術(TSCP)の小経験. 第 21 回和歌山MIOS フォーラム, 2024. 1. 和歌山
94. 太地良, 中川幸洋, 前田孝浩, 佐々木貴英, 山本悠太, 岸拓暉, 神前貴洋, 浅井宜樹：当院における内視鏡下腰椎椎体間固定術 (MELIF) の治療経験. 第 32 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2024. 2. 和歌山
95. 木戸勇介：母指 CM 関節症治療を考える 文献レビューとライブディスカッション：第 6 回和歌山県手外科研究会, 2024. 9. 28. 和歌山市
96. 神前拓平, 南出晃人, 湯川泰紹, 山田宏：脊椎手術後に下肢に壊死性筋膜炎を発症し股関節離断により救命しえた 1 例. 第 56 回脊椎外科同好会, 2024. 伊勢市
97. 神前拓平, 山本悠太, 湯川泰紹, 山田宏：頸椎後縦帯骨化症における椎体レベルに認める髄内輝度変化の臨床的意義. 第 56 回脊椎外科同好会, 2024. 伊勢市
98. 野中研人, 中谷如希, 南野和佳, 大西麻紀子, 平一裕, 籠谷良平, 岩田勝栄, 麻殖生和博, 峠康：脛骨粗面の転位を伴う人工膝関節脛骨インプラント周囲骨折の一例. 和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 和歌山

99. 村田顕優, 下江隆司, 中谷潤, 神前貴洋, 松山雄樹, 山田宏: 母指MP関節橈側種子骨障害の1例. 第34回和歌山県整形外科医会, 2024. 2. 10. 和歌山
100. 村田顕優, 下江隆司, 木戸勇介, 松山雄樹, 三笠友梨奈, 山田宏: トランスサイレチン沈着を認めた両側手根管症候群の2例. 第6回和歌山県手外科研究会, 2024. 9. 28. 和歌山
101. 古梅祐: 当院における骨粗鬆症に対する取り組み. 第49回和歌山東臨床研究会, 2024. 2. 10. 2 和歌山
102. 古梅祐, 坂井智, 神前拓平, 藤木貴顕, 山崎悟, 川上守: 骨粗鬆症から見えてくる今後の和歌山の在り方. 第92回和歌山医学会, 2024. 9. 和歌山
103. 神前貴洋, 石元優々, 村田鎮優, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 井上慎吾, 山田宏: 脊椎手術後髄液漏の周術期評価 -超音波検査は有用である-. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 和歌山
104. 神前貴洋, 石元優々, 筒井俊二, 橋爪洋, 山田宏: 腰椎変性側弯症における神経根症の特殊型の1例 -回旋・側方すべりに生じた神経根牽引・圧迫による複合障害-. 第34回和歌山県整形外科医会学術集会, 2024. 2. 和歌山
105. 神前貴洋, 石元優々, 村田鎮優, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 井上慎吾, 山田宏: 頸椎再手術後に発生した髄液漏の診断に対して超音波検査が有用であった一例 -超音波検査を用いた新しい髄液漏の評価方法-. 第461回整形外科集談会京阪神地方会, 2024. 2. 大阪
106. 神前貴洋, 神前拓平, 石元優々, 岩崎博, 山田宏: 股関節OA High Risk 群を追跡調査! -エコーでスクリーニングしてみます-. 第16回SMAP Award Competition, 2024. 2. 東京
107. 神前貴洋, 石元優々, 村田鎮優, 岩崎博, 筒井俊二, 高見正成, 井上慎吾, 山田宏: 頸椎再手術後に発生した髄液漏の診断に対して超音波検査が有用であった一例 -超音波検査ドプラ法で髄液の動きを感知できるのか?-. 第92回和歌山医学会総会, 2024. 9. 和歌山
108. 神前貴洋, 神前拓平, 石元優々, 岩崎博, 山田宏: 脊椎固定術後の股関節症進行の病態解明に向けて -Hip OA high risk 群をエコーで調査-. 第16回SMAP Award, 2024. 11. 東京
109. 菅野裕一郎, 林末統, 峰巨, 谷上正純, 北裏卓也, 石本悠介: 橈骨遠位端骨折に月状骨骨折を合併した稀な1例. 第92回和歌山医学, 2024. 9. 和歌山
110. 山本悠太, 中川幸洋, 前田孝浩, 太地良, 佐々木貴英, 岸拓暉, 北裏清剛, 尾崎良行: Revision 手術として内視鏡下腰椎椎体間固定術(MELIF)を行った2例. 第21回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム, 2024. 1. 和歌山
111. 山本悠太, 山中学, 西山大介, 福井大輔, 山本章, 上野健, 三宅稜, 山田宏: 人工股関節置換術を契機に診断に至ったアルカプトン尿症性関節症の1例. 整形外科紀伊半島合同カンファレンス, 2024. 3. 三重

受賞

1. 日本骨粗鬆症学会研究奨励賞: 骨粗鬆症性椎体骨折のAI診断ツール開発と早期治療介入による超高齢社会の医療経済の効果検証. 研究代表者 寺口真年

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金. 研究代表者 山崎正志, 研究分担者 山田宏: 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究
2. 文部科学省科学研究補助金 (基盤研究C). 研究代表者 橋爪洋, 研究分担者 岡敬之: 傍脊柱筋サルコペニアのMRI診断基準確立と超音波エコー評価システムの開発
3. AMED 長寿科学研究開発事業. 研究代表者 牟礼佳苗, 研究分担者 橋爪洋: 高齢者のフレイルの早期予知・予防を可能とする新規バイオマーカーの開発研究
4. 文部科学省科学研究補助金 (基盤研究C). 研究代表者 中川幸洋: 傍脊柱筋サルコペニアの概念に基づく腰痛がり予防改善プログラムの開発
5. AMED 長寿科学研究開発事業. 研究代表者 岡敬之, 研究開発分担者 岩崎博: 高齢者への最適ナリハビリテーションと栄養管理の提供を目的とした骨格筋量評価アルゴリズムの開発研究 (AIと超音波を用いた医用画像解析の応用)
6. 文部科学省科学研究補助金 (基盤研究C). 研究代表者 高見正成, 研究分担者 山田宏: 地域住民コホート研究による脊柱後弯症の長期自然経過の解明

7. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 延與良夫 研究分担者 橋爪洋, 寺口真年, 中川幸洋, 廣西昌也, 峯玉賢和, 中川雅文: 健康寿命の延伸を目的としたデュアルタスクトレーニングの有効性の解明
8. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 谷口隆哉: 日本人のPistol Grip Deformity 有所見率と関連因子へ縦断研究
9. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 谷口亘 研究分担者 山中学, 西尾尚子: 酸化ストレスによる老化と TRP チャネルを介した脊髄中枢性感作に関する解析
10. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 西山大介: 成人脊椎変形矯正固定術後の人工股関節脱臼リスク評価
11. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 長田圭司: 脊柱靱帯骨化疾患 ~ゲノム解析による疾患概念の確立~
12. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 下江隆司: 大規模一般住民コホートによる手の疼痛と中枢性感作に関する疫学調査-ROAD study-
13. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 浅井宣樹 研究分担者 松山雄樹, 山中学, 下江隆司: 微細血管塞栓療法による変形性膝関節症モデルでの局所炎症と異常神経の退縮機序の解明
14. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 籠谷良平: びまん性特発性骨増殖症の予後及びその危険因子の解明: 住民コホートの追跡
15. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 寺口真年 研究分担者 橋爪洋, 中川幸洋, 山田宏: ロコモティブシンドロームへの徹底介入による若返りのまちづくり
16. 日本生命財団 研究・地域活動助成 児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成) 研究代表者 寺口真年: 未来を拓くため、子どもロコモの戦略的予防法の開発
17. 厚生労働省科学研究費補助金 研究代表者 久留聡、分担者 山中学: スモンに関する調査研究
18. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 山中学 研究分担者 西尾尚子: 前帯状皮質、島皮質におけるケタミンの疼痛抑制メカニズムの解明
19. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 前田孝浩: 大規模住民コホートの長期追跡による、是正可能な腰部脊柱管狭窄症危険因子の解明
20. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 佐々木貴英: 小児期扁平足の実態解明、予防に向けた縦断疫学研究
21. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 岩橋弘樹: 腰椎部発育性脊柱管狭窄の概念確立を目指す地域住民コホート研究
22. 文部科学省科学研究補助金(若手研究B) 研究代表者 曾根勝真弓: 異常感覚克服のための各種触覚機械受容器イオンチャネルの同定.
23. 第40回(令和4年度)公益財団法人整形災害外科学研究助成財団 旭化成ファーマ賞 研究代表者 曾根勝真弓: 手根管症候群へのエコーガイド下交差法正中神経ハイドロリリースの有効性に関する前向き観察研究
24. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 玉井英伸、研究分担者 山中学, 西尾尚子: 変形性膝関節症の疼痛増強における TRPA1 チャネルの役割とその抑制効果
25. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 村上公英、研究分担者 西尾尚子: 変性椎間板マウスモデルにおける脊索細胞注入の髄核修復効果
26. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 太地良: 脊髄後角でのメソトレキサートの鎮痛作用機序の解明-パッチクランプ法による解析
27. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 大西麻紀子、研究分担者 橋爪洋, 長田圭司: 小中学生における姿勢異常の実態と関連する生活習慣の解明
28. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 木戸勇介 研究分担者 橋爪洋, 岡敬之: 子どもロコモの実態調査と効果的な介入方法の調査
29. 令和6年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 研究代表者 村田鎮優: 脊柱骨盤アライメント保持における殿筋のはたらきの解明 ~脊柱後弯に対する新たな予防法と治療指針の確立~
30. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 西尾尚子 研究分担者 谷口亘, 山中学: 不動痛はROSによる脊髄内TRPA1チャネル活性化を介した中枢性感作が関与する.
31. 文部科学省科学研究補助金(若手研究) 研究代表者 神前拓平: 成人脊柱変形手術後の股関節症: 新たな疾患概念と予防法の確立にむけて

32. 股関節研究振興財団 令和 6 年度股関節研究助成 研究代表者 神前拓平 脊柱骨盤固定術後の変形性股関節症-三次元動作解析を用いた予防法の確立に向けて-
33. 文部科学省科学研究補助金(基盤研究C) 研究代表者 貝持裕太 研究分担者 山中学, 西尾尚子: 脊髄後角におけるニトロチロシンの疼痛調節メカニズムの解明
34. 令和6年度和歌山県立医科大学若手研究支援助成 研究代表者 山本悠太: 脊髄後角における Vasopressin の疼痛抑制メカニズムの解明